

小型タクシー休止

問

小型タクシー休止6か月 地域の移動手段どう確保

つぶやき

検討・検討では
前に進まない。
もっとスピード感を!



答

代替確保へ運行拡大を協議中



質問者の動画が
視聴できます。

やぎ
八木

ふみと
史 議員

問 八木議員

地元の小型タクシー事業者が営業休止から6か月以上経過したが、事業者との相談や話し合いはあったのか。また、今後の移動手段確保に向けて、代替交通や地域交通のあり方についてどのような対応・支援を検討しているのか。

答 町長

①条件設定や採択基準を含め町では、深浦地区の小型タクシー事業者が3月に廃業したと認識しているが、事業者からの相談や話し合いはなかった。代替手段として、岩崎地区のタクシー事業者と協議を行ったが、現在の運行許可は岩崎地区に限定されており、深浦地区での運行は困難とのことだった。ただし、事業者には深浦地区への運行拡大の意向があり、運輸局の許可取得に向けて確認を進めている。今後は、運転手や車両の確保も含め、公共交通協議会と連携しながら対応を検討していく。



▲浜町商店街

浜町商店街再生

**浜町商店街の再生へ
軽食・休憩所付き
人工温泉を提案**

**『施設整備は町全体の
視点で議論必要』**

問 八木議員

活気を失った浜町商店街の再生について町長の考えを伺いたい。また、小規模な軽食や休憩所を備えた人工ラジウム温泉施設の整備を提案したい。

答 町長

浜町の街並みは北前船寄港地の風情を残す貴重な景観であり、活気の低下は非常に残念。私自身もその思いから、就任前にリハビリ特化型「デイサービス」を開設し、人の流れづくりに取り組んできた。令和6年度の空き店舗率は38%で、令和3年度から変わっていない。現在の支援策として創業支援事業補助金があるが、施設整備や商店街再編のような大規模な取り組みについては、町全体の施設配置を俯瞰的に見て議論する必要があると考える。

※俯瞰的：物事を高い位置から見下ろすように、全体を広い視野で捉えること





**物価高騰生活支援
町民生活逼迫、
支援策を問う**

『水道料減免は見送り商
品券で対応』

問 八木議員

物価高騰が続く中、町民生活の厳しさが増している。町長は就任時、「町民第一」の姿勢を示していたが、水道基本料の減免や町民一人5千円の商品券支給といった支援策を講じる考えはあるか。

答 町長

物価高騰の長期化は国民生活に大きな影響を与える重要課題であり、国は各種支援策を実施してきた。当町でも国・県の交付金を活用し、支援事業を実施してきた。水道料金基本料の減免は、一時検討したが不公平感や事務負担の課題から見送り、商品券支給に効果を持たせた。今後も国の動向を踏まえ、対応を検討する。



「種時きの年」産業別取組
「種時きの年」に注目
産業ごとの取組と
プロジェクト体制を
問う

『「種時き」の具体化進む
給食費無償化や施設活用
見直しも検討中』

問 八木議員

今年「種時きの年」との考えのもと、町長が示す各産業への具体的な取組は何か。また、どのようなプロジェクトチームを立ち上げたのか。

答 町長

就任から約5か月、公約と令和7年度予算との関連を見極めつつ、一歩ずつ施策を進めている。「種時き」とは、職員との対話を通じた意識共有や信頼構築であり、支援制度の周知や「書かない窓口」導入の意識改革、庁舎のバリアフリー化検討などが成果として現れている。保育園給食費無償化や多世代交流促進工リアの構想、ウエスパ椿山の活用再検討も進行中。プロジ

エクトチームは現時点で未設置だが、機構改革や各施設の利活用を視野に今後立ち上げを検討する。



問 八木議員
物価高騰が大学生生活に深刻な影響を与える中、前回提案した大学生等への特産品支援に加え、緊急策として町産米10キロを贈る事業の実施は可能か。

答 町長

物価高騰が大学生の生活に深刻な影響を与えていることは認識している。町産米を大学生等に10キロ贈る案は意義深い。現在国が米価対策を進めており、備蓄米の放出による価格安定を目指しているため、町としては国の動向を注視しながら対応を検討する。

物価高騰
学生に町産米支援提案
物価高騰で学生支援
を提案
町産米10キロ贈呈を
町長に問う

『大学生への米支援は意義深く、国の動向見極め
対応』

